



# つなげよう 私の想いあなたの想い

## 10月1日～12月31日 赤い羽根・共同募金運動はじまる

赤い羽根・共同募金は、民間の社会福祉事業を支援するため「社会福祉法」に位置づけられ、毎年10月1日から12月31日までの間、全国一斉に展開されています。この募金は、市内の全小・中学校での児童・生徒への福祉教育などの取り組みや各地域の福祉会、障がい児・者への福祉事業に使われています。今年もみなさんのご理解とご協力をお願いします。



宗像大社秋季大祭での街頭募金

自治会や町内会など地域住民のみなさんの協力を得て各世帯にお願いする「戸別募金」をはじめ、市役所、学校職員、各福祉団体を対象に図書カードなどの資料を活用する

平成23年度の実績額は、**1,292万7,885円**

日本でも共同募金運動が始まって60年以上が過ぎました。この間、社会経済状況も急激な変化を見せ、人々の生活も意識も変わってきました。共同募金は、人々がともに生きていこうという「たすけあい」の心に支えられ、人々の幸せを願ってともに歩んできました。

### たすけあいの心



www.akaihane.or.jp

赤い羽根データベース「はねっと」をご覧ください

平成23年度に宗像市で集められた募金は、全て福岡県共同募金会へ送金し、配分委員会などの審査の後、平成24年度に、社会福祉協議会を含む各申請団体などに配分されました。平成23年度に集まった募金は(表1)「平成24年度共同募金の使いみち」のように有効に活用されています。共同募

### 平成24年度募金の使いみち

平成23年度、みなさんのご協力で1,292万7,885円の募金が集まりました。ありがとうございます。共同募金は、募金が集まってきたから使いみちを決める募金ではありません。事前に地域福祉のための使いみちの計画を立てます。この使いみちの計画に必要な額が「目標額」になります。

### 共同募金は計画募金

職域募金、学校や病院、公共施設、事業所に募金箱を設置するなどいろいろな方法でお願いしています。

### 平成24年度の募金目標額

今年度の「目標額」は、昨年度実績と同額の1,292万7,885円です。この目標額を達成すること(表1)「平成24年度共同募金の使いみち」のような事業・活動を平成25年度も安定、継続して行うことができます。

### 1世帯700円の目安額

市全体の「目標額」は1,292万7,885円ですが、「1世帯ではどれだけの金額を協力したらいいのか」ということが分かりにくいいため、「1世帯700円を目安に協



# 社協だより

## 142号

平成24年10月1日

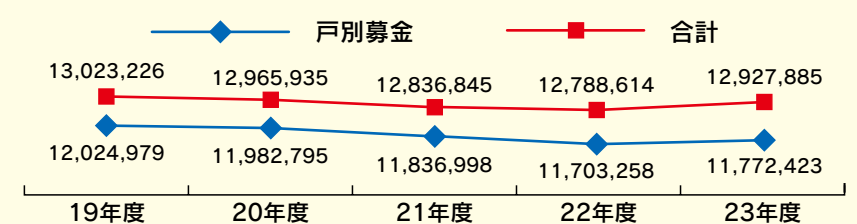
発行  
社会福祉法人  
宗像市社会福祉協議会  
〒811-3437 宗像市久原180  
メイトム宗像2階  
TEL 0940-37-1300

## (表1) 平成24年度 共同募金の使いみち

平成23年度の実績額は、1,292万7,885円でした。ありがとうございました。この募金は平成24年度、下記のような活動に活用されています。赤い羽根共同募金は、みなさまのあたたかな気持ちを、具体的な活動につなげていく、「じぶんの町を良くするしくみ」です。これからもご理解とご協力をお願いいたします。

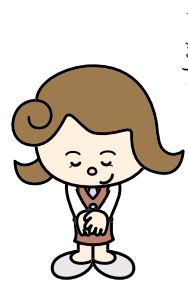
項目	金額
高齢者の福祉に ☆在宅介護者の会への支援 ☆小地域ネットワーク活動助成金	450,000円
児童・青少年の福祉に ☆福祉教育読本「ともに生きる」の活用 ☆福祉教育推進校(園)指定事業 ☆地域福祉文庫連絡協議会活動の支援	1,397,000円
障がい児・者の福祉に ☆身体障害者福祉協会支援 ☆手話講習会助成金 ☆声の広報配布事業 ☆おもちゃ図書館運営支援など	1,751,000円
母子・寡婦福祉に ☆母子・寡婦福祉会への支援	295,000円
県内の福祉施設や災害準備金に ☆県内全域を対象とした社会福祉施設や福祉団体に ☆災害準備金に	3,950,775円
福祉会活動の支援に ☆地域住民の自主的な地域福祉活動	2,981,000円
情報提供・啓発活動に ☆社協だよりの発行	708,800円
ボランティア活動に ☆福祉ボランティア活動連絡協議会への支援 ☆大島地区ボランティア団体助成金 ☆要約筆記ボランティアの養成	627,000円
共同募金の事務費に ☆チラシの作成、資材の購入など	767,310円

(表2) 共同募金実績額の推移 (円)



力していただく、計画されている事業が実施できます」と目安額をお知らせすることにしていきます。この目安額を示すことが強制と受け取られがちですが、決してそうではありません。募金目標額を達成するためにお願いする「目安」ですので、みなさんのできる範囲内でのご協力をお願いいたします。

### 多くの人に支えられている共同募金



9割を占め、市内の多くの世帯からの募金に支えられています。また、地域のいろいろな場面で、自治会長や組長、事業所や公共施設、学校の先生や児童・生徒のみなさんからの多くの支えで成り立っています。

### 東日本大震災に おける支援

東日本大震災は、大規模かつ広範囲であることから、全国の共同募金会が支援をしています。

### 災害準備金の積み立て

県共同募金会では毎年、県内のための災害準備金を積み立てています。

### 支援する人を 支援する募金

被災地では震災直後から災害ボランティアセンターが設置され、ボランティアの受け入れやコーディネートを行っています。共同募金会では、東日本大震災の被災地で立ち上がった約100か所の災害ボランティアセンターに対して、活動資金としてこれまで、総額7億3千万円を助成してき

ました。(平成24年4月11日現在、中央共同募金会取りまとめ分)被災地では復興に向けてさまざまな取り組みが進められていますが、被災された人々を取り巻く環境は厳しく、生活再建に向けて今後もボランティア・NPOによる活発な活動が期待されています。赤い羽根共同募金会では、被災地の一日も早い復興に向けて、息の長い被災者支援を今後も続けていきます。詳しい募金方法につきましては、市社会福祉協議会に問い合わせてください。



# 共同募金の配分活用

## スロープ付福祉車両を購入



障害者支援施設 緑ヶ丘学園 施設長 遠城 信吉さん

この度は、みなさまの善意とご厚意により集められた赤い羽根共同募金の配分をいただき、福祉車両を購入することができました。心から深くお礼申し上げます。

緑ヶ丘学園は、宗像市大井にある障害者支援施設で、昭和57年に開設されました。当初は定員50人の施設でしたが、現在は知的障害のある82人の利用者が入所され、生活や作業など、自立に向けた取り組みをしています。



車いすのまま、乗車できます

す。その中には、公共交通機関の利用や買い物など社会適応能力の向上、地域交流やレクリエーションなどを目的とした施設外での活動もありました。しかし、歩行の困難な利用者がスムーズで快適に移動することのできる方法の確保に、施設としては頭を痛めていたと

今回、赤い羽根共同募金の配分を受けて購入した福祉車両は、利用者が車いすに座ったまま乗車できるスロープ付きで、今までは施設にありませんでした。試乗した利用者もスロープを使って乗り込む時には不安そうなお表情でしたが、車が走り出すと思いのほか乗り心地が良かったのか、すぐに笑顔になり喜んでおられました。今ではこの車での外出をとて楽しみながら使っています。

当施設は今年で開設30周年を迎え、利用者の高齢化・重度化が進み、今後は更に車いすの使用頻度に刺激を与え、表現力や想像力の豊かな子どもを育てる事につながります。

子どもたちに本の楽しさを伝える事に喜びを感じる一方、マナー、心構えなど、ボランティアとして身につけておかなければならない大切な事があります。

八尋さんのお話を通じて再確認することができたように、「今回の講演で得たものを大切に読書

ボランティアの活動を続けていきたい」という感想が参加者からありまし



度が高く なると思 えていま す。その ような状 況で、安 全で快適 な移動手 段が確保 できたこ とに、利 用者と職員一同心から感謝して います。これ からレクリエ ーションや 買い物など 利用者の外 出時の移動 手段として、 いっ までも大切 に乗り続け たいと思いま す。

## 共同募金が活用されている事業

### 読み聞かせは「耳からの読書」

7月2日に「学校で楽しく続けるための読書ボランティア講座」を開催。講師は八尋理恵さん（福岡おはなしの会代表）。小学校で子どもたちに朝の読み聞かせをしている人、読書ボランティアをしている人など53人が参加しました。



本のもち方、めくり方にもコツがあります

読み聞かせは「耳からの読書」と言われ、生の声によって、子どもの脳

に刺激を与え、表現力や想像力の豊かな子どもを育てる事につながります。

子どもたちに本の楽しさを伝える事に喜びを感じ

る一方、マナー、心構えなど、ボランティアとして身につけておかなければならない大切な事があります。

八尋さんのお話を通じて再確認することができたように、「今回の講演で得たものを大切に読書

ボランティアの活動を続けていきたい」という感想が参加者からありまし



真剣なまなざしの参加者

## つながれひろがれ 地域福祉! シリーズ⑧

### 障害者生活支援センター

土・日曜日、祝日を除く 午前8時30分～午後5時  
(34)2411 ファックス(34)2422  
メールアドレス saw09180@hkg.odn.ne.jp

### ピアサポート事業

同センターでは、当事者同士での支援やつながりを作ることを目的に、ピアサポーター（障がいのある相談員）3人を配置しています。

「ピア」とは「仲間」という意味で、ピアサポーターは仲間同士の相談に応じるため、交代で勤務しています。

また、障がいにかかわらず誰もが参加できるような事業の企画・運営を行いながら、仲間づくりを目指して活動しています。

今回は、ピアサポート事業の取り組みをご紹介します。

### 料理体験と交流会

7月のピアサポート事業では「料理体験と交流会」をメイトム宗像で開催しました。交流会の準備も兼ねた料理体験は、参加者がボランティアと一緒に50人分のぎょうざ、おにぎり、みそ汁を作りました。

参加者は、それぞれ作業を分担し、みんなで協力し合ったのでおいしい料理ができました。

これまでの料理体験で「家族にも食べさせたいこの声が聞かれたので、午後からは、家族にも参加してもらい、一緒に食事をしながらの交流会。

参加者や家族同士でゆっくりと話をしながら過ごしたり、別室では自己紹介をかねたジャンケンゲームなどレクリエーションも楽しみました。

ピアサポーターは、今後も仲間作りや余暇活動を充実させるための機会を作っていくたいと考えています。



ボランティアと一緒にぎょうざ包みに挑戦



家族同士の交流会

は、年代や障がいが違うとくさんの人と接することができました。初めは少し戸惑いながら参加していた娘も、そこで出会った人と再会できることを楽しみにして、自分から気に入った会に参加するようになりました。

また、親としても学校を卒業してからは、他の保護者との交流や、情報交換の機会がなくなっていたのですが、いろいろな人のお話を聞ける場でもあり楽しみにしております。

また、公共交通機関を使って出かける催しには、参加したことがありませんので、今度はぜひそういう会にも参加させたいと思っています。

## 募集 電車に乗って出かけよう

同センターでは、電車やバスを利用した外出行事の参加者を募集します。

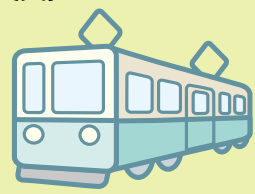
目的地は、福岡ヤフードーム周辺施設です。

今回は、ベースボールミュージアムや商業施設などから希望のコースごとにグループ散策を予定しています。

詳しい内容や行程については、同センターにお問い合わせください。

参加をお待ちしています。

- 日時 10月21日(日) 9:15~16:00 (予定)
- \*雨天決行
- 場所 福岡ヤフードーム周辺施設
- 対象 障がいのある人
- 定員 先着20人
- 参加費 交通費、昼食代など実費負担
- 申込締切日 10月15日(月)
- 申込・問い合わせ先  
同センター  
▽☎(34)2411  
▽ファックス=(34)2422





# ボランティアセンター通信

日曜日、第1土曜日、祝日を除く午前8時30分～午後5時  
☎(37)4100 ファックス☎(37)4101  
ホームページアドレス <http://kouyukukan.com/v-net/>  
メールアドレス [v-net@city.munakata.fukuoka.jp](mailto:v-net@city.munakata.fukuoka.jp)

## 一人ひとりを大切に… 「ユニバーサルボランティアスクール」より

すべての人が安心して暮らせるまちにするために何が出来るか、どうすればよいかを考えていくことが求められています。そういった「ユニバーサルデザイン」学習をテーマに、今年3日間実施し、小学3年生から6年生まで合わせて22人が受講しました。

福岡県は「みんなにやさしいまち」を目指し、福祉のまちづくり条例に沿って、街の整備を進めています。

「道路と歩道の段差は危ないね」、「車いすマークのある駐車場は、体の不自由な人などのためのスペースだから、誰もが停めてはいけないね」と、県内の状況を聞き、改めて考え直さなければならぬ点があることが分か

りました。

また、中間市の介護実習普及センターで、車いすや高齢者の模擬体験を通じ、身体や心の変化を実感しました。「認知症」の講義では、病気を正しく理解し、対応することによって症状の進行が緩やかになると分かり、「困っていたり、不安になっていたら、優しく受け入れ、接することが大事」と気づきました。



なかなかつかめません



スイカの種も丁寧に取ります

最終日に、ユニバーサルデザインの視点から、ユニバーサルデザインフード作りに挑戦。性別や年代、障がいの有無、国籍の違いなどに関わらず「食」は生きていく上で欠かせないもの。多くの人が、楽しく、おいしいと感じられるよう発案されたメニューを調理してみました。



ユニバーサルデザインフード

「野菜を小さく刻んでも、見た目を損なわずおいしそう」、「麺を一口サイズにまとめてあったので、スプーンでも食べられた」と当日ゲストに迎えた障がいのある人や幼児、外国の人からも大好評でした。

短い期間でしたが、たくさん学び、新しい出会いもありました。「ふだんの暮らしがしあわせ」と感じられる街になるように、どんな小さなことでも、一人ひとりに応じていきたいと思います。

## 「平成24年度ボランティア入門講座」 参加者大募集!

当センターでは、何か始めたい人やボランティア活動に関心のある人を対象に、ボランティア入門講座を開催します。ワークショップを交えた講座で楽しく学びました。

日時 11月14日(水) 午後1時～同4時

場所 メイトム宗像

対象 ボランティア活動および本講座に関心のある人

定員 20人

参加費 300円(保険代)

他) 締切日 11月6日(火) 内容(予定) 「ボランティア活動について」 「できることさがし」 など

申込 同センター

\*第1土と日・祝日の申し込みは、FAXまたはメールにて受付

▽メール [v-net@city.munakata.fukuoka.jp](mailto:v-net@city.munakata.fukuoka.jp) での受付



平成23年度 ボランティア入門講座の様子

## 市母子寡婦福祉会

## バスバイク参加者募集中!

市母子寡婦福祉会が、市内在住の母子家庭の親子を対象にバスバイクを開催します。今年には熊本市や熊本市動物園に行きます。あなたも、母子家庭の仲間と親子で楽しいひとときを一緒に過ごしてみませんか。

一人でも悩まないで 仲間になつて下さい

日程 10月21日(日) 対象 市内在住の母子家庭の親子

行先 熊本城と熊本市動物園

参加費 会員1人500円 非会員1人800円

定員 抽選で30人

申込方法 10月11日(木)までに市社会福祉協議会☎(37)1300へ電話で申し込み

母子家庭や寡婦家庭には、苦労や悩みを抱えているお母さんが多いと思います。

会では、このような悩みを少しでも和らげ、同じ悩みを持つ者同士の交流・情報交換会(サロン活動)や研修会、会員や家族との交流事業(1日バスバイク)、などを実施しています。

会では、「母子や寡婦家庭の悩みや苦労は、1人で悩まず、抱え込まず、仲間で語り合い、分かち合い、お互い支えあいましょう」をテーマに活動しています。

市母子寡婦福祉会では、随時寄付を受け付けています。地域福祉の推進のために、ご協力をよろしくお願い致します。

市社会福祉協議会では、随時寄付を受け付けています。地域福祉の推進のために、ご協力をよろしくお願い致します。



## ほんのひと時、介護の手を休めてリフレッシュしませんか。

### ～在宅介護者一泊リフレッシュセミナー～

市内在住で、在宅介護をしている人を対象に「在宅介護者一泊リフレッシュセミナー」を開催します。

このセミナーは、在宅介護のリフレッシュと学習会(個別相談)を兼ね、1泊で実施します。介護や介護保険などに詳しい市社会福祉協議会職員や市在宅介護者の会「ひまわり」の役員も同行します。

あなたも介護の手を休めて、介護や介護保険についての学習や相談を通して、同じ介護者との楽しいひとときと一緒に過ごしてみませんか。

- 主催 宗像市、宗像市社会福祉協議会
- 実施日 11月26日(月)～同27日(火)
- 対象 市内在住で、在宅介護をしている人
- 行先 熊本県人吉市・熊本市方面(予定)
- 宿泊地 熊本県球磨郡相良村さがら温泉(予定)
- 参加費 1人5,000円
- 募集人員 抽選で30人
- 申込方法 10月31日(水)までに市社会福祉協議会 ☎(37)1300へ電話で申し込む

## 寄付

ありがとうございます

### 【香典返し】(敬称略)

- ・(故)黒石光 (江口)
- ・(故)吉武豊 (田熊)
- ・(故)岡林竹繁(三郎丸)
- ・(故)福岡成 (三郎丸)
- ・(故)大森義統(牟田尻)

- ・(故)森永保久 (江口)
- ・(故)吉田孝子 (村山田)
- ・(故)中村富佐 (東郷)
- ・(故)権田克子 (須恵)
- ・(故)福島卓 (自由ヶ丘)
- ・(故)村田政夫 (鐘崎)
- ・(故)中村昭夫 (原町)
- ・北崎正 (鐘崎)
- ・(故)牧田源吾 (日の里)
- ・岩佐勝哉 (江口)
- ・(故)高野カズエ(日の里)

市社会福祉協議会では、随時寄付を受け付けています。地域福祉の推進のために、ご協力をよろしくお願い致します。

## 社会福祉法人 宗像市社会福祉協議会

宗像市久原180番地 メイトム宗像内 ☎(37)1300  
大島支所 宗像市大島1809番地32 ふれ愛センター内 ☎(723)2294  
ホームページアドレス <http://syakyo.munakata.com/>  
メールアドレス [info@syakyo.munakata.com](mailto:info@syakyo.munakata.com)